

令和3年度 第1回「ふくふく神栖」介護・医療連携推進会議式次第

今回は、神栖市において新型コロナウイルス感染拡大しているため、内部開催とさせていただきます。

日 時 令和3年 7月28日（水曜日） 15：00～

会 場 株式会社 エヌエスサービス

内 容 利用状況と活動報告

参加者 定期巡回随時対応型訪問介護看護管理者

居宅介護支援事業所管理者

株式会社エヌエスサービス部長

内容 利用状況と活動報告

定期巡回・随時対応サービス
自己評価・外部評価表の説明と意見交換

新型コロナウイルス感染症対策について

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	ができていないこと	全くできていない		
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]								
(1) 理念の明確化								
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				ふくふくの理念「人間の尊厳の認識・自立支援・地域貢献」を常に念頭置いてサービスにあたっている。また、事業所内に掲示している。	
(2) 適切な人材の育成								
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	○				当該サービスの特徴についてミーティング・研修で周知し理解している。	
	3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	○				月1回事業所内研修を行い、技術力・対応力などの向上に努めている。個別研修では、システムを活用して、積極的に取り組めるようにしている。	
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	○				新規初回訪問時、新人ヘルパーには、同行し、ケア内容、手順など丁寧に教え、不安なくサービス提供ができるようにしている。1人1人の能力に応じて工夫して配置している。	
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	○				スマケア(リアルタイム情報システム)・ワウトーク(社内連絡システム)を活用し、常に情報を共有している。	
(3) 適切な組織体制の構築								
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	○				利用者の状況変化・病状変化に応じて、訪問回数を増やすなど迅速・柔軟に対応している。	
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている			○		コロナ禍での開催ということもあり、対面しての開催が難しいので、できていないことが多い。	
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備								
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				スマケア・ワウトークを活用し、常に情報を共有し、ケアマネージャー・家族などに迅速に連絡できている。	
(5) 安全管理の徹底								
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	○				月1回安全衛生委員会を開催し、安全・衛生について、具体的にマニュアル化し教育している。また、社用車にドライブレコーダーを設置し、評価・指導している。	
利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○				ヘルパーに対しては、個人情報秘密保持誓約書を、利用者に対しては、個人情報同意書を取り交わしている。	
II 過程評価 (Process)								
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供								
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成								
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			契約時に本人家族の情報や要望を聞き、アセスメントをした上で計画書を作成している。	
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○			毎月アセスメント・モニタリングを行い、意見交換し介護計画に反映させている。	
利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			健康状態を観察し、自立をうばう介護をせず利用者ができることを増やしていくようにしている。	

	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている					小さな変化を見逃さず医療機関や訪問看護に報告するなど早め早めの対応をし重症化を防ぐようにしている。
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し							
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている					発熱や体調に変化があった場合、家族状況の変化、デイサービスの日程変更など必要に応じて訪問回数を増やしたり柔軟に対応している。
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている					日々の状態観察(バイタルや食事量、尿量など)し情報共有する中で早期に発見把握し、計画の見直しをしている。
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている					身体の変化や病状の悪化した時など、介護職から看護職に変更するなど専門性を生かす工夫をしている。
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている					看護職から介護職に常にスマケア・フアウトークを常に活用し、行われている。
(4) 利用者等との情報及び意識の共有							
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている					契約時にはパンフレットを利用し、説明を行っている。アセスメントに基づいたサービス内容について同意をいただいている。
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている					計画書の目標・内容について説明し、不明点や質問があれば、分かりやすく丁寧に説明している。
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている					状況変化がある場合は必ず家族やケアマネに報告し相談している。
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント							
(1) 共同ケアマネジメントの実践							
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている					ケアマネと連絡をとり合い、情報共有し報告・相談しながら、サービス提供をしている。
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている					配食サービスや保険外サービスを提案し、実施している。
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている					コロナ禍で対面開催はあまり行われていないが、電話などで、情報提供している。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献							
利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)					移動スーパーや配食サービス、保険外サービスを必要に応じて提案し活用している。
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)					退院時には退院前カンファレンスに参加し、多職種による検討や情報共有しサービスにつなげている。
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)					ケア会議に参加し、多職種で検討し、情報共有している。
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている					介護・医療連携推進会議の議事録については、ホームページにて公開している。

『は1月報』の光1日	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている			○	ケアマネージャー・病院のソーシャルワーカーに対して、パンフレットを渡し、説明はしているが、地域の方々にたいしては、広告周知はできていない。	
(2) まちづくりへの参画							
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している			○	介護事業計画は概ね理解はしている。	
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○			平成29年6月より本事業を地域提供からスタートしており、特定の建物に限定していない。	
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)			○	カミスココでずっと会議に参加し、地域の課題などについて話し合い、意見交換している。日々サービス提供する中で、多職種の関係者と連携して、安心して暮らせるまちづくりに参画したいとは考えているが、活動はできていない。	
Ⅲ 結果評価 (Outcome)							
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている			○	毎月モニタリングを実施し、評価している。	
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている			○	必要時、24時間365日いつでも連絡がとれていつでもきてくれるという安心を感じていただけている。	